

## 研削および熱処理加工の技術力と最新設備導入により 工作機械・自動車産業のサプライチェーン中核企業へ成長

工作機械部品の研削加工および自動車部品の熱処理加工を手掛けている。特に高い精度が求められる大型工作機械の研削加工では高い技術力を有し、競争優位性を築いてきた。昨今の高い技術力が要求される製品についても、長年にわたり培ってきた職人による高い技術力と高精度な最新設備の導入でミクロン単位の加工要求にも対応してきた。また熱処理事業部の強化にも力を入れており、多数の自動車メーカーから認定工場として認められており、高品質な製品を提供している。

所在地 愛知県名古屋市緑区大高町丸ノ内88  
電話/FAX 052-623-2555 / 052-623-5006  
URL <http://www.sakae-kogyosho.jp>  
代表者 代表取締役 谷川 政康

設立 1980年  
資本金 1,000万円  
従業員数 50人



### 職人技術の数値化による伝承で大型機では困難な高精度な研削精度を実現

工作機メーカーから求められる高水準な品質要求に対応するために、高性能な研削盤を継続的に導入し、また経験豊富な職人を多く抱えることで大型部品においてもミクロン単位での加工が可能など、競合他社が模倣困難な技術水準を確立してきた。他社の追随を許さない比類なき技術力を持つことで独自の販売網を築き、中部地区のみならず、全国各地から受注を獲得している。また職人の技術を数値化する取組により技能を伝承させ、国内に研削技術を残して海外への生産移転を未然に防止し、6メートル級の門型研削盤を導入するなど、我が国のイノベーションを支える取組を構築している。



最新設備

### 熱処理を主要部門に育成し、景気変動リスクに備える

研削事業部では、主に大手工作機械メーカーを販売先としているが、工作機械の生産量は国内及び海外の景気により大きく左右される。その為、近年では安定した受注の獲得が見込まれる熱処理事業部の成長に力を入れている。同社の熱処理部門では熱処理専門メーカー並みの設備を導入しており、真空焼入・浸炭焼入など各種熱処理加工が可能であり、加工技術や品質は大手自動車メーカーからも高い評価を受けており、自動車の重要保安部品の加工も任されるなど同社はサプライチェーンの中核企業の1つとなっている。現在、自動車業界はEV化へ急激なシフトが行われているが、同社においてはEV化のニーズに対応するために現在BCPに対応した熱処理事業部の新工場を建設しており、今後さらなる成長を目指している。



熱処理部門の生産ライン

### 継続的なCSR活動の実施

現在日本でもCSR活動に取組む企業が増えているが、同社では創業者の思いにより、地域社会の力となれるよう、創業時から社会貢献活動を継続して行っている。一例として、新型コロナウイルス感染症対策では、世界的に感染が拡大し、マスクの入手が困難な時期にマスク5万枚を社員・取引先をはじめ、市町村や教育現場へ寄付を行った。こうした長年に渡る社会貢献活動は高く評価されており、国から紺綬褒章を毎年授与されている。



CSR対策